

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272501289		
法人名	社会福祉法人メープル		
事業所名	グループホームメープル		
所在地 (電話番号)	〒039-2311 青森県上北郡六戸町大字上吉田字長谷85-26 (電話) 0176-70-1117		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年3月19日	評価確定日	平成20年6月11日

## 【情報提供票より】(平成20年3月4日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	12人	常勤 6人, 非常勤 人, 常勤換算	12人

## (2)建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての	階	~ 1階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,360	円	その他の経費(月額)	6,000	円
敷 金	有(	円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(	円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
	無				
食材料費	朝食	円	昼食	円	
	夕食	円	おやつ	円	
	または1日当たり	1,000	円		

## (4)利用者の概要(3月4日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	9名		
要介護3	7名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.7歳	最低 72歳	最高 93歳		

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	六戸町国民健康保険病院、浅原歯科医院		
---------	--------------------	--	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景を見渡せる丘の上にあり、開放感にあふれている。またグループホーム玄関前には天然温泉の足湯があり、利用者や家族、地域の人達の交流の場になっている。理念を大切にするとともに、職員会議で毎月支援目標を話し合い、全員で取り組んでいる。一人ひとりの希望をかなえてあげたいという職員の支援のもと、安心して生活している様子がうかがわれる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題なし。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者のみの取り組みであった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	近況報告や意見交換を行い、サービスの向上につなげている。また、老人クラブ会長の参加により、地域交流が深められている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	苦情ボックスを設置している。また、利用者の近況報告を毎月文書で報告し、面会時には話をする機会を持つようにし、意見や要望をうけとめ、対応する体制を整えている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域のお祭りや老人クラブ、保育園の行事に参加し、積極的に地域交流が行われている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けられるように、事業所独自の理念をつくり、玄関の目につきやすいところに掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議で理念の確認・共有が図られている。また、具体的なケアの月間目標をたて全職員で取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域のお祭りや老人クラブ、保育園の行事に参加して、積極的に地域交流が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は管理者のみでの取り組みである。		全職員が一丸となって、取り組まれることを期待します。
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	近況報告をし、意見交換をおこない、サービスの向上につなげている。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	実情を伝えたり、課題解決にむけて協議できる体制ができている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	すでに制度を活用している利用者もあり、外部講師による事業所内研修等を実施し、職員の理解を深めようとしている。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	事業所内研修を実施し、高齢者虐待防止関連法に関する理解を深め、防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧に説明をし、同意を得ている。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の近況を毎月文章で報告している。状態変化時はその都度報告している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情ボックスを設置している。また面会時に話し合う機会をもち、意見を汲み取る工夫している。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者や家族にはその都度きちんと説明している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修から段階に応じて計画的に実施されている。また外部の研修にも参加し、毎月の職員会議等で報告し、全職員で学ぶ仕組みができている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部での研修時に情報交換し、サービスの質の向上を目指している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族やこれまでかかわっていた関係者との連携を密にし、馴染みやすい雰囲気づくりができるように工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員間で共有しており、畑での野菜作りで利用者に教えてもらう等の機会を大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望や思いを把握し、一人ひとりにあった生活が支援できるようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう本人や家族の要望を聴き、担当スタッフと計画作成者が話し合い、全職員の意見を取り入れながら介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しが行われている。また状態が変化した際はその都度、本人、家族の要望をとりいれながら見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の病院受診等、予定日以外の利用にも柔軟に対応しており、本人家族の要望に応じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医になっている。かかりつけ医とは状態変化時は相談、受診できる体制ができている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、本人や家族、かかりつけ医と話し合い、実施できる体制ができている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないようにしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態や思いに配慮し、買い物や外出等できるだけ個別性のある支援をおこなっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が一緒に献立を作成し、一人ひとりの得意分野で調理、盛り付け、片付け等を分担し、楽しく食事できるように支援している。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる準備をしている。一人ひとりの希望やタイミングにあわせて、ゆっくり入浴を楽しめるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事づくりや畠仕事等一人ひとりの得意分野で力を發揮できるように支援している。法人全体での行事を定期的に実施したり、地域の祭りにも参加し楽しめるように支援している。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物をしたり、足湯を利用した後散歩したりして、本人の希望にそった外出支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	62	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。ベッド脇にマットレスを敷く等し、夜間ベッドからの転落によるけがを防止するよう工夫している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	より安全な体制のために、センサーを設置してはいるが、日中は玄関に鍵をかけずに自由に出入りできるよう支援している。		
31	68	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域住民の協力が得ながら、定期的に避難訓練を実施している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取状況を毎日記録しており、職員が情報を共有できているが、栄養バランスの確認としてはなされていない。		定期的に管理栄養士等の専門的アドバイスをうける取り組みを期待します。
33	75	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、M R S A、ノロウイルス等)	感染症対策委員会を設置し、いま必要な情報の共有はできているが、感染症についてまとめたマニュアルなどはない。		グループホーム独自の感染症マニュアルを作成し、職員が必要時、いつでも確認できるような取り組みを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間は、手作りカレンダーを壁にかけるなどして家庭的な雰囲気づくりを工夫している。利用者の状況にあわせた温度管理と、天窓から差し込むやわらかい日差しが暖かい空間になって、利用者一人ひとりを包んでいる。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		



は、重点項目。